平成 27 年度

水木しげるロード道路空間の再配分による賑わい空間の創出に向けた社会実験

【概要版】

平成 28 年 3 月

水木しげるロードリニューアル社会実験協議会

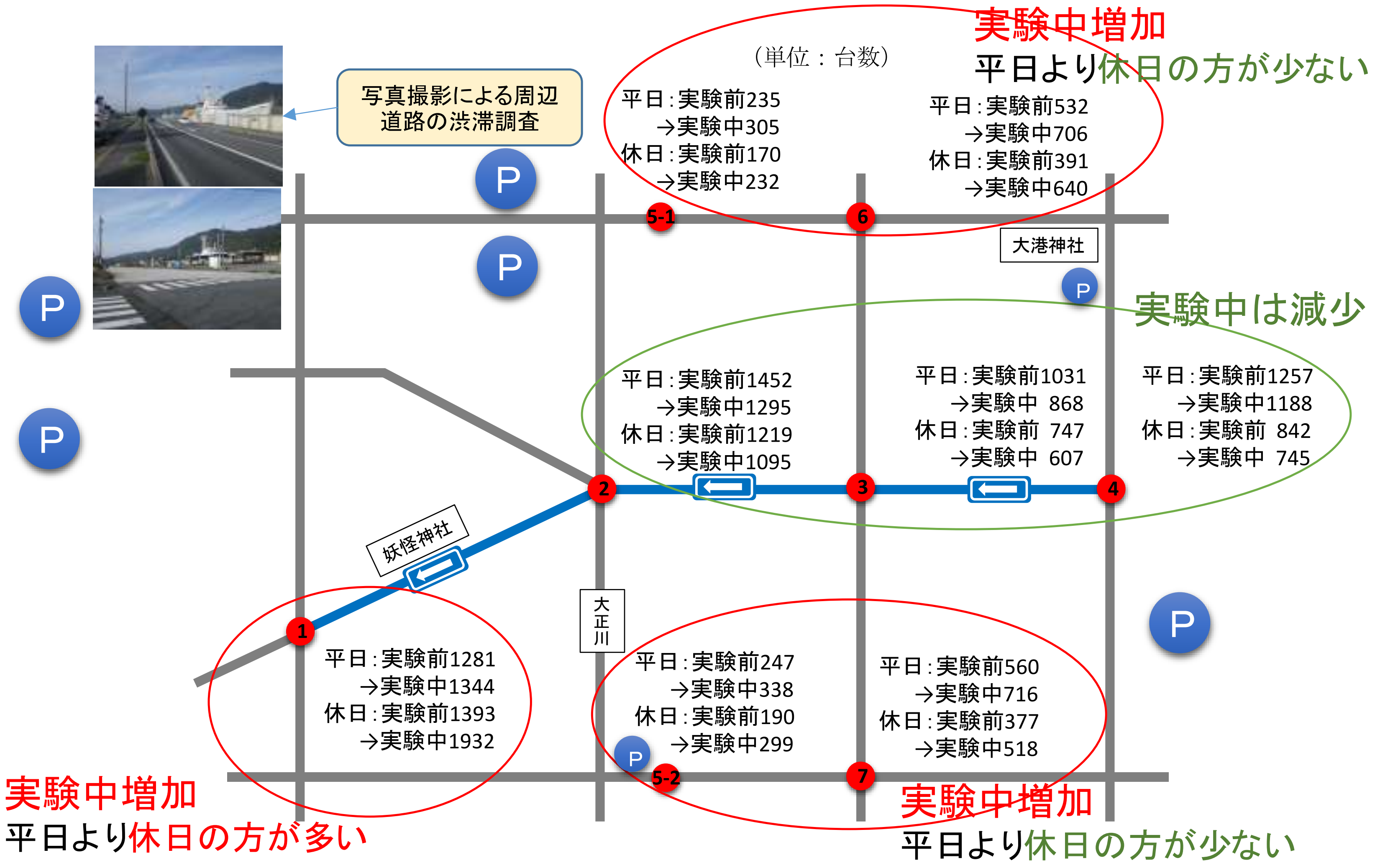
交通量調査結果

【調査日程】 社会実験前　平日　平成27年11月17日（火）　雨　　社会実験中　平日　平成27年11月25日（水）　雨のち曇り
休日　平成27年11月15日（日）　曇り　　　　　　　　休日　平成27年11月22日（日）　晴れ

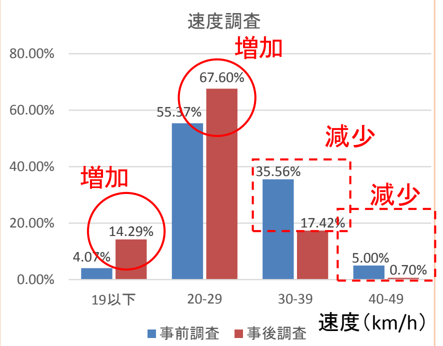
【調査方法】
◆人手による方向別車両台数カウント　・・・7:00～19:00　12時間　　・・・図中　1～7
◆スピードガンによる車両速度調査　　・・・7:00～19:00　12時間　　・・・図中　8
◆人数計測装置による横断面自動計測　・・・0:00～24:00　24時間　　・・・図中　9

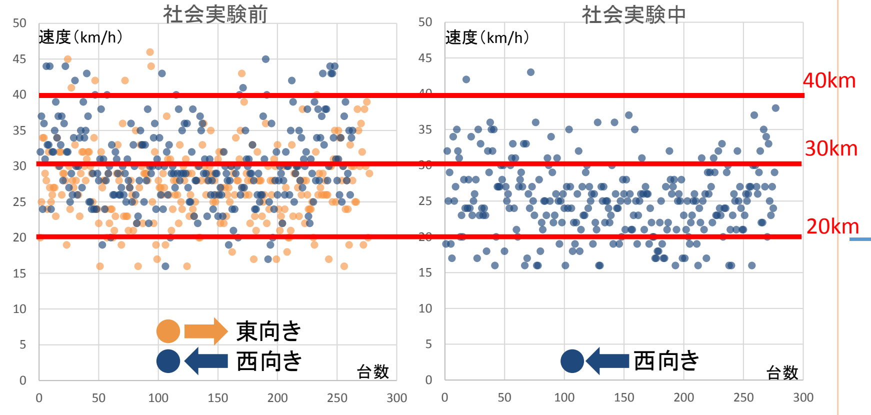
【調査場所】

- 車両の12時間通行量は、全体的に少ない
- 水木しげるロードは一方通行化により通行量が減少
- 周辺道路に増加した通行量は水木しげるロードの迂回車両分が増加したと推測されるが、渋滞は発生していない
  （利用の多い9:00～15:00においても、最高で1時間あたり15台 程度の増加）



- 社会実験による仕掛けで、時速20km台の車両が増加
- 社会実験による仕掛けで、平均速度にして「時速約4km減速」
- 社会実験による仕掛けで、法定速度超過が激減

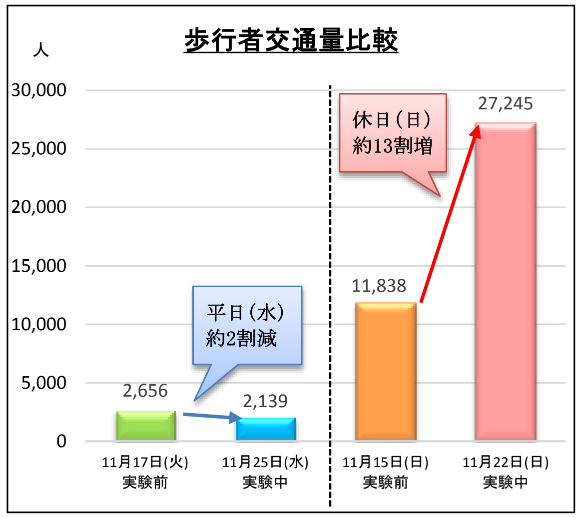


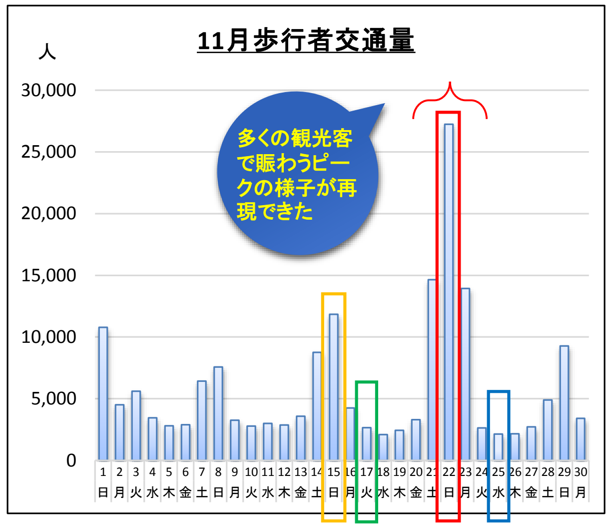


平均時速3.74km減

時速30km/hを超える車
激減

- 歩行者は、社会実験中の秋の行楽シーズン終盤であったことや、イベント効果で増加している





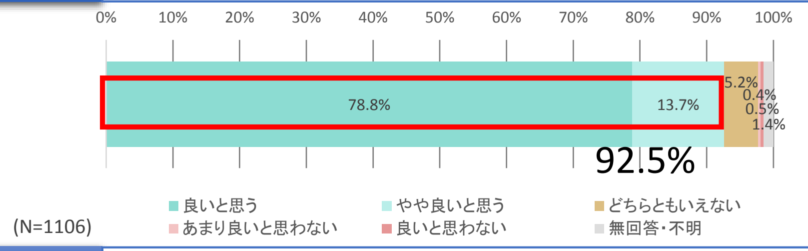
訪問者アンケート結果

【調査日程】 平成27年11月21日（土）～11月24日（火） 祝日を含む連休
【調査方法】 対面でアンケート記入依頼、記入後回収
【回収数】 1,106通

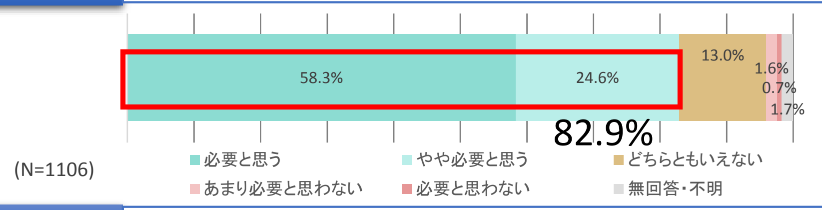
●基本理念への肯定的意見約9割、観光地で車の進入制限をかけることの必要性約8割、実施すべき約8割

●基本理念への肯定的意見約9割、観光地で車の進入制限をかけることの必要性約8割、実施すべき約8割

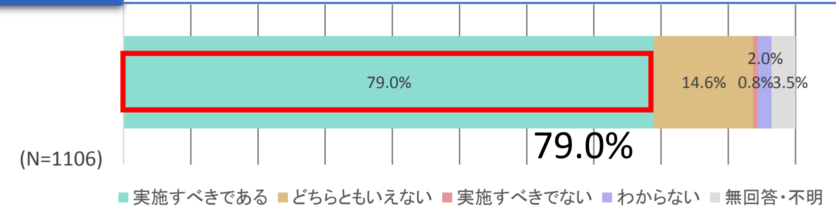
【リニューアルにおける基本理念】 「訪れるすべての人にやさしい道」を目指し、リニューアルすることについて



【観光地としての一般論】 観光地で車の進入制限をかける「道路の一方通行」について



【総合的な考え方】 社会実験のような道路で整備することについて

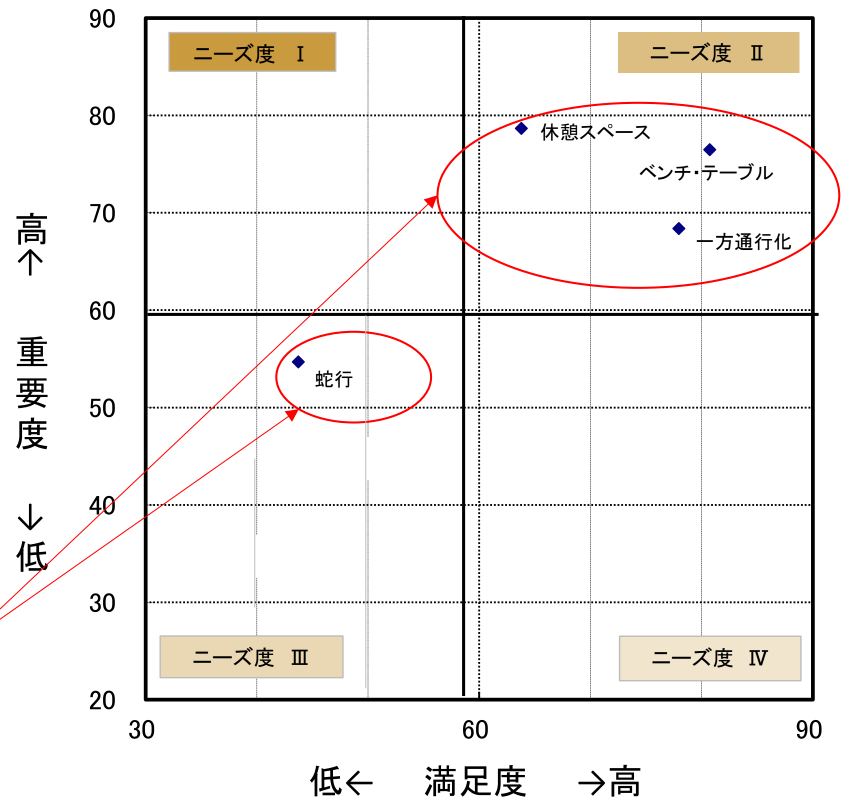


総合評価

●重要と感じ、満足度も高い、ニーズ度が高いのは「休憩スペース」「ベンチ・テーブル」「一方通行化」
●休憩スペース等に比べると「蛇行」のニーズ度は低いものの、重要度・満足度それぞれ50点以上

	【満足度】	【重要度】
一方通行化	77.95749	68.38167
蛇行	43.72642	54.67864
休憩スペース	63.77551	78.65169
ベンチやテーブル	80.72233	76.4761

※満足度・重要度は、「良い」などの各回答数に以下の点数をかけた合計値を全回答数で割った平均点
「良い」100点
「やや良い」50点
「どちらでもない」0点
「あまり良いと思わない」-50点
「良いと思わない」-100点



ニーズ度の高い「休憩スペース」などは、車道空間を歩行空間へ再配分することにより創出できる空間でもある

地元住民アンケート結果

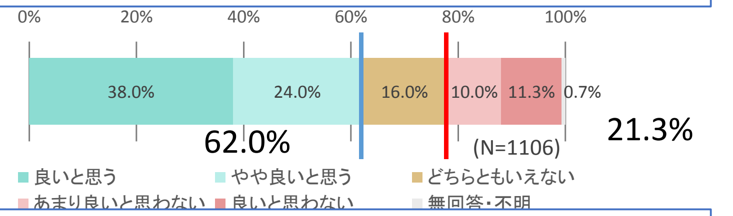
【調査日程】 平成28年1月8日（金）～1月27日（水）
【調査方法】 各世帯、店舗へ配付、郵送による回収
【回収数】 300通 （回収率31.9%）

●基本理念への肯定的意見約６割、車主体から人主体の道を目指すことへの肯定的意見約７割、整備は各意向約３割ずつ

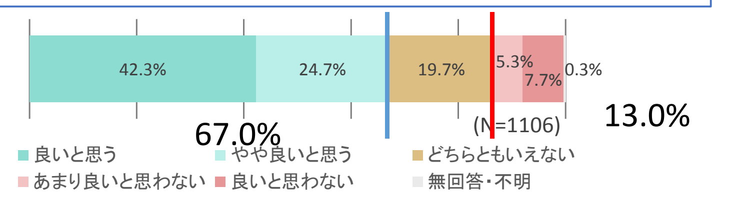
地区名	配布数（世帯数）	回収数（通）	回収率（%）
相生町	92	18	19.6
中町	76	29	38.2
末広町	67	12	17.9
本町	24	12	50.0
栄町	95	25	26.3
日ノ出町	97	24	24.7
松ヶ枝町	55	25	45.5
京町	118	23	19.5
明治町	222	41	18.5
大正町	93	32	34.4
無回答・不明	—	59	—
計	939	300	31.9

●基本理念への肯定的意見約6割、車主体から人主体の道を目指すことへの肯定的意見約7割、整備は各意向約3割ずつ

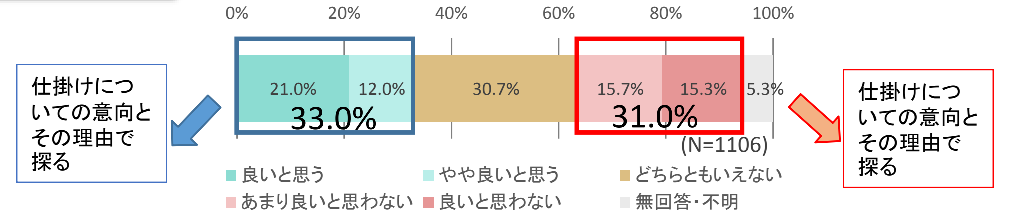
【リニューアルにおける基本理念】 「訪れるすべての人にやさしい道」を目指し、リニューアルすることについて



【車主体から人主体の道へ】 水木しげるロードで「車が主役の道から人を大切にする道」を目指すことについて



【総合的な考え方】 社会実験のような道路で整備することについて（一方通行、蛇行等）



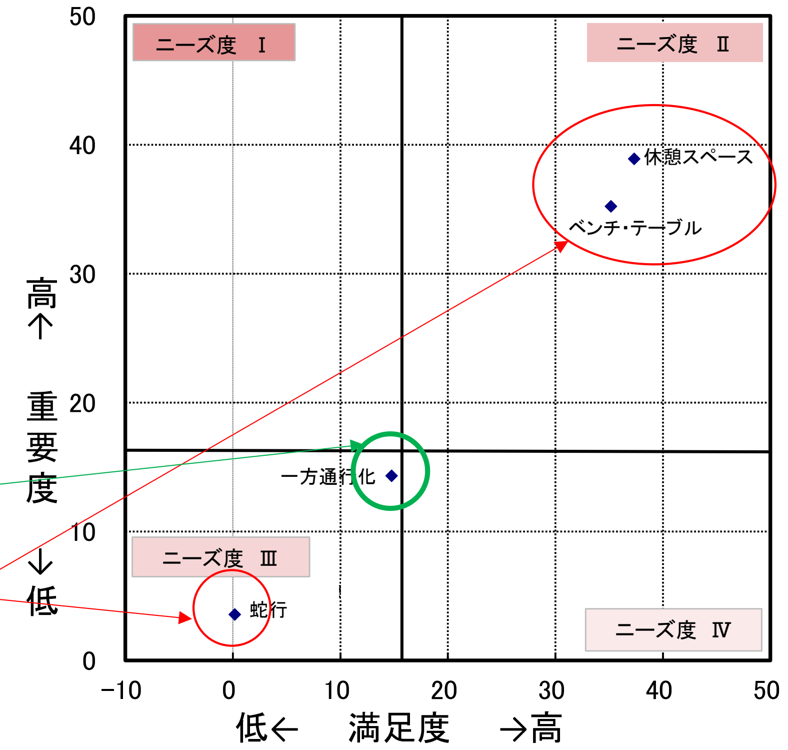
●重要と感じ、満足度も高い、ニーズ度が高いのは「休憩スペース」「ベンチ・テーブル」
●「一方通行化」は平均点付近

	【満足度】	【重要度】
一方通行化	14.757	14.312
蛇行	0.171	3.545
休憩スペース	37.326	38.889
ベンチやテーブル	35.172	35.219

※満足度・重要度は、「良い」などの各回答数に以下の点数をかけた合計値を全回答数で割った平均点
「良い」100点
「やや良い」50点
「どちらでもない」0点
「あまり良いと思わない」-50点
「良いと思わない」-100点

※詳細は次頁参照

一方通行化は平均値



ニーズ度の高い「休憩スペース」などは、車道空間を歩行空間へ再配分することにより創出できる空間でもある

訪問者アンケート結果

	実数(人)
歩行者専用道路にすればよい	17
水木しげるロードについての感想	12
社会実験について	9
その他提案・要望	8
アンケートについて	8
お土産について	2
その他	7

□水木しげるロードについての感想
・また来てみたい
・予想していたよりよかった
・楽しい
・感動した
・素敵な街だった
・アーケードの屋根が嬉しかった
・前あったところに駐車場がなくなっていた

□社会実験について
・車を規制することで事故が減らせてよい
・歩行者が車道にはみ出す対策が必要
・高齢者が増えるため休憩スペースは必要
・車の運転が上手くない人もいるため制限が必要
・一方通行にする趣旨・意味が不明
・ブロンズ像など歩道に障害物が多く、歩行空間の拡大にはならない
・左右どちらに行くべきかの指示や、駐車場の案内もなく不親切
・プランターだけでは車が突っ込んできたときに危ない
・ゲタ積み・スタンプラリーはおもしろかった

□その他の提案・要望
・自転車のマナーが悪いので改善すべき
・車イスを利用したが歩道と車道に段差があり、スムーズに移動できなかった
・自動車の制限をすることでバスが便利になるとよい
・ピーク時のみ規制すればよい
・個々の店がゆっくりできる雰囲気をもっと作るべき
・店の前の私有物が多く歩きにくい
・記念館の前だけに着ぐるみがいるのはよくない
・喫煙所を隔離してほしい
・11月まではテーブルエリアに日傘が必要
・アーケードの汚い塗装を生かしておどろおどろしい雰囲気を作る

□アンケートについて
・質問、項目が多すぎて書けない
・もっと短く絞って質問するほうが効果的
・道が広い狭いは観光客にはわからない

□お土産について
・お土産品がとてもかわいらしい
・可愛い土産を工夫すること

□その他
・境港駅のホテルに温泉があれば泊まる
・休憩スペースについて嫌がらせで車を通れないようにするのはいかがなものか
・車のことはわからない
・がんばってください

地元住民アンケート結果

	実数(人)
仕掛けについて	22
住民のことも考えてほしい	21
他の整備・工夫が必要	16
住民にとっては不便である	13
危険である	13
歩行者天国にした方が良い	12
アンケート結果の周知と反映をしっかり	11
今のままでよい・整備不要	10
この道路ばかり税金を使うことについて	8
社会実験の周知がわかりにくい	7
車の減速マナーの徹底	7
再来したくなるロードの魅力づくりが必要	6
観光客のためにはよい	4
緊急車両等への対策が必要	3
その他	14

＜住民のことも考えてほしい＞
・ロードのお客様を観光客のみという視点に疑問がある
・生活道路で観光道路ではない
・地元住民の生活道路としては不満が残った
・地元の人間のことを考えてほしい
・境市民の立場になって考えてもらいたい
・水木ロードができて喜んでいる人ばかりではなく、迷惑している人もいることを忘れないでほしい
・最初に市民に話を聞いてから、リニューアル計画を進めれば良かった
・普段、生活の中で使っている道を一方通行の為遠回りした人がいたことも認識してほしい
・市民の町ではなく、観光客の町になり、市民が遠のく

＜他の整備・工夫が必要＞
□ロード内の他の整備
・3年計画の工事期間短縮をお願いしたい
・ロード内の歩道（駅まで）に日差しよけ、雨・雪よけの屋根を作れば少しは「人にやさしい道」になる
・スピードのことより、市民がロード内に買い物に行く際の車のスペース（一時停車場所）がどこかに欲しい
・管理が大変だろうが、ゴミ箱を増やしてみてはどうか
・ロードで「朝市」「屋台（夜間のみ）」のプランがあれば、場所&スペースを加味すればどうか
・河童の泉、ホテルまでの同時整備と、河童の泉にトイレを新設してほしい

□ロード以外の整備
・如何にホテルを利用させるかが大切
・他の境港市内（中心部）の観光、定住はどうするのか等課題が山積している
・銀座通りや中町の一方通行の解除を希望
・水産加工品など地元の物を中心に販売する場所（無料がよい）や食べさせる場所があるとよい
・もっと足元から見てみる必要がある
・街の活性化を真剣に考えてほしい
・鬼太郎だけに頼るのではなく、漁港らしさも考えたらよい
・夜も人で盛り上がればよい
・水木ロード沿線だけではなく、周辺を一体化して観光客が回遊できるようになればよい

＜仕掛けについて＞
□荷さばきスペース
・一方通行で荷さばきスペースは左側がよい
・店の前に荷さばきスペースをつけてほしい
・荷さばきスペースを増やしてほしい
□道路が狭い
・とにかく車道が狭い
・このような狭い道路では危険
・一方通行の道路幅が狭く、停車している車の追い越しができない
・道路を広げる
□プランター
・花など（プランター）の設置は心があたたまり非常によかった
・躓く可能性があるのでプランターを置く場所を考える必要がある
・プランターや植木は、足元が危ない
□休憩スペース
・ベンチに座り、くつろぐ観光客が多く見られた
・歩道を広くしたり、休憩スペースがあることで観光客の方がゆったり過ごしているように感じた
・休憩スペースで出るかもしれないゴミの問題を検討すべき
□蛇行・狭さく
・高齢者が多いため、蛇行道には再考を要する
・蛇行と狭さくは、運転していて違和感と不安があった
・交差点近くでの蛇行と狭さくは危険、曲がりにくい
□ハンプ
・ハンプは景観がよくない
・ハンプまではいらない

＜不便である＞
・観光客、歩行者だけにやさしい道路で、車で通るには不便で通らなくなった
・高齢者が通院のためタクシーの乗り降りするのに一方通行になると便利が悪い
・来店客が急に減って困った
・車で来られる地元の買い物客は不便を感じている
・近所に住む者としては不便で仕方がない
・生活上、仕事上、一方通行は大変不便であった
・雪が降った場合、歩道が広くなると雪かきする範囲が今までより多くなる

＜危険である＞
・一方通行にすると周辺の道でいつか事故がある
・車で歩行者をよけるスペースがなくなり、逆に危険
・元島根銀行のあった四つ角は信号がないので、時に危険
・車道と歩道の間のブロックがそのままあり、躓きやすかった
・マスコットがいると信号が見えなくなるため、歩行者のマナーの徹底をしてほしい
・車道が狭くなり、歩行者の信号無視が増えた

総合評価

交通量調査、訪問者アンケート、住民アンケート、事業者ヒアリング結果から、「訪れるすべての人にやさしい道」で整備することについて約7割が肯定的。
また、地元住民の車での走行や、事業者の荷さばきなど、利便性への配慮と対策の必要性が見えた結果となる

【全体の方向性】

● 「訪れるすべての人にやさしい道」としてリニューアル整備することについては、「肯定的」

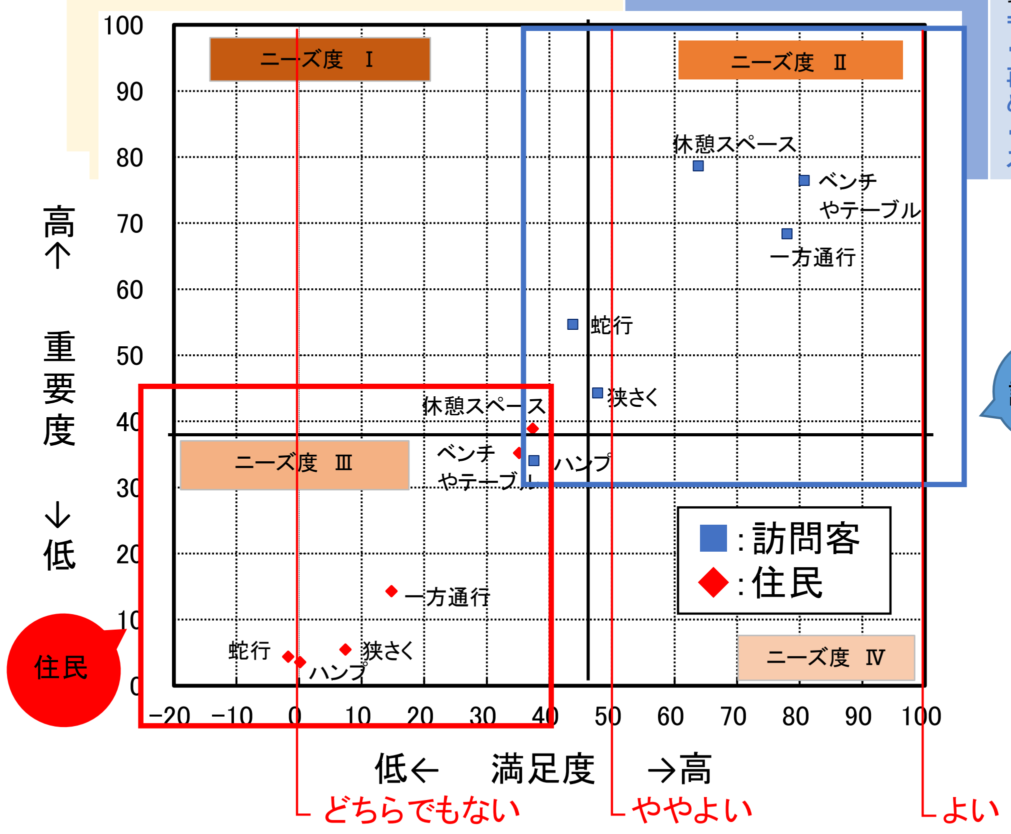
訪問者アンケートと交通量調査結果から	項目	住民アンケートと交通量調査結果から
◯9割以上が肯定的 ◯連休で多くの人が訪れ、沿道は多くの観光客で賑わっていた	基本理念について 「訪れるすべての人にやさしい道」	◯約6割が肯定的 ◯理念に関しては肯定的である
◯8割以上が必要 ◯一方通行化により広がった空間でイベントで楽しみ、休憩スペースでゆっくり時間を過ごしていた	車主体から人主体の道として一方通行化することについて	◯約7割が肯定的 ◯車主体から人主体の道へリニューアルすることについては肯定的である
◯約8割が肯定的	総合的に考え、社会実験のような道路で整備することについて	◯肯定・否定・どちらでもないが3割ずつ

総論賛成であるが、仕掛けについてはいろいろな意見があり、実施にむけた取り組みが必要

【仕掛けの総合評価について】

●訪問者・住民ともに休憩スペース、ベンチやテーブルといったより快適に過ごせて滞在時間がのびる仕掛けについてニーズが高い
●一方通行、蛇行、狭さくは、必要性を感じ、理解はしているが、利便性や地元への影響への懸念から、満足度が低くなっている
特に、ハンプについては満足度がマイナスとなっている。

訪問者アンケートと交通量調査結果から	項目	住民アンケートと交通量調査結果から
◯一方通行、休憩スペース、ベンチやテーブルのニーズはとても高い ◯蛇行や狭さくのニーズは休憩スペースに比べると高くはないものの、ニーズはプラス側にある	各仕掛けについての総合評価	◯休憩スペース、ベンチやテーブルのニーズは高い ◯一方通行、蛇行、狭さくのニーズは低く、特にハンプは満足度がマイナスを示しているが、必要性はプラス側にある ⇒【課題】 ・休憩スペースなどは、車道空間を歩行空間へ再配分することにより創出できる空間でもあるため、このことを地元と情報を共有する必要がある ・仕掛け以外への配慮として、「荷さばきスペースの確保」「路上駐車対策」等がある



訪問客

訪問客と住民の重要度および満足度には差があり、これを埋めていくことも必要

【各仕掛けについて】

●住民の「蛇行」「狭さく」「ハンプ」については肯定的な意見を否定的な意見が上回った。他の項目は全て肯定的な意見が上回った。

訪問者アンケートと交通量調査結果から	項目	住民アンケートと交通量調査結果から
◯約9割が肯定的 ◯理由は「安全性」「歩道が広がる」等	一方通行	◯約5割が肯定的 、約3割は否定的 ◯否定的な理由は「利便性」「周辺道路の混雑」「迂回車両流入」への懸念 ◯規制があればといった条件付きも含めると許容範囲が過半数を超える ⇒【課題】 ・迂回車両が周辺道路へ流れにくくなるような対策 ・住民や商店の車両に著しい不便が生じないような対策
◯6割以上が肯定的 ◯否定的な理由として「接触事故」 ⇒【課題】 ・車より人が優先である道であることの徹底 ・速度調査から車の速度抑制効果への理解	蛇行	◯肯定・否定が約4割ずつ(否定が若干上回る) ◯肯定的な理由は「車の減速効果」「人を大切にする」「まちなみの雰囲気」 ◯否定的な理由は「走りにくくなる」「接触事故」「見通し」 ◯自転車にとって走行しにくい箇所があった ⇒【課題】 ・速度調査から車の速度抑制につながっていることへの理解拡大 ・車より人が優先であることの徹底 ・自転車走行に対する配慮を設計に反映 ・安全対策
◯6割以上が肯定的	狭さく	◯肯定・否定が約4割ずつ(否定が若干上回る)※理由と対策は蛇行と同じ ◯もっと緩やかにするなど、条件付きも含めると許容範囲が過半数を超える
◯6割が肯定的	ハンプ	◯否定が約4割(肯定約3.5割) ◯否定的な理由は「夜間の視認性」「騒音・振動」 ◯騒音・振動対策など、条件付きも含めると許容範囲が過半数を超える
◯約8割が肯定的	休憩スペース	◯6割以上が肯定的
◯約9割が肯定的	ベンチやテーブル	◯6割以上が肯定的
◯約5割が肯定的 ◯約3割は否定的 「接触事故」への懸念や「自転車も一方通行にすべき」との理由から否定的 ⇒【課題】 ・安全対策	自転車の 双方向通行	◯5割以上が肯定的 利便性を理由に肯定的 ◯約2割の否定的な意見の理由に「接触事故」 ⇒【課題】 ・安全対策

課題と対応策

	課題	対応策案	
		道路構造や構造物での対応	ソフト対策
1	◯啓発 持続的な水木ロードの観光地としての発展という事業の主旨について理解を深める		◯周知活動 交通量調査結果、アンケート調査結果とともに、「車道空間を歩行空間へ再配分することによる効果」について説明
2	◯啓発 一方通行について空間再配分と車通行量の減少(安全効果)について理解を深める		◯周知活動 交通量調査結果から、「車道空間を歩行空間へ再配分することによる安全効果」について説明
3	◯啓発 一方通行、蛇行、狭さく、ハンプといった仕掛けは、「休憩スペース」などの空間創出および車の速度抑制につながっていることへの理解を深める	◯場所や箇所を協議の上、検討する	◯周知活動 交通量調査結果、アンケート調査結果とともに、「仕掛けの持つ効果」について説明
4	◯車と、人・自転車との接触事故対策	◯路面表示、標識や看板設置 車より人が優先であることを周知する「看板」などで車へ注意喚起を行う ◯車止め等の適正な配置	
5	◯自転車走行の安全対策	◯路面標示や標識設置 走行できるところを明確にし、自転車へ注意喚起を行う	◯レンタサイクル店などの協力により安全走行の啓発 ◯地元住民へも安全走行の啓発
6	◯周辺道路への迂回車両対策	◯看板設置 時間帯によっては交通が集中するため、規制や誘導の看板設置 ◯道路の改良	◯時間規制などの検討 ◯新たな「サイン計画」を策定 ◯カーナビなどへの適切な情報の反映 (観光客の約6割が自家用車でカーナビを情報源として訪問している)
7	◯車の誘導対策	◯ICT(電光掲示板など)による案内・誘導 ◯誘導看板設置(サイン計画反映)	◯カーナビなどへの適切な情報の反映 ◯新たな「サイン計画」を策定 車や自転車、人が安全に、また円滑に誘導できるサイン計画策定
8	◯住民や商店の車両に著しい不便が生じないような対策		◯時間進入規制などの対策 ◯一定のルールづくり(ゴミ、搬入、一時停車)
9	◯荷さばきスペースの確保	◯場所や箇所を協議の上、設計へ反映	◯一定のルールづくり(時間規制、台車の活用等)
10	◯路上駐車対策		◯一定のルールづくり